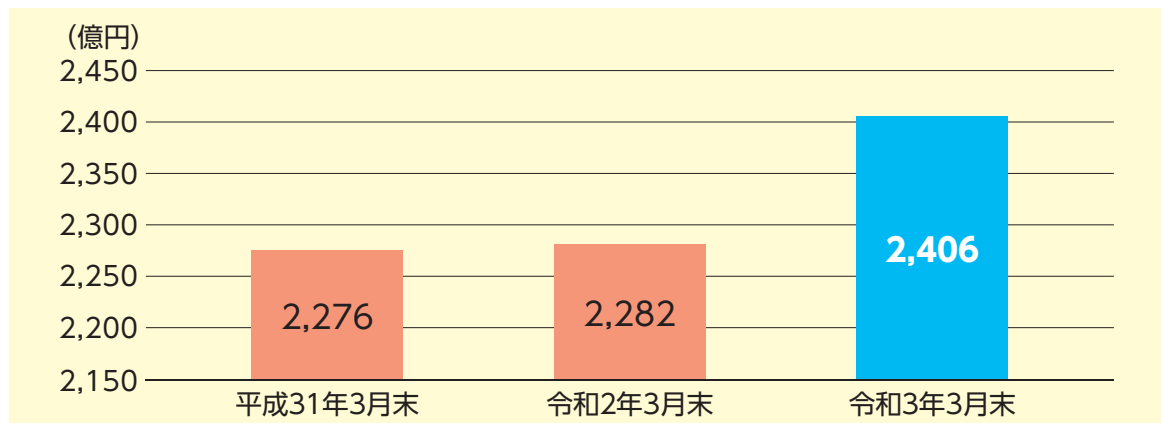


令和2年度 事業の概況

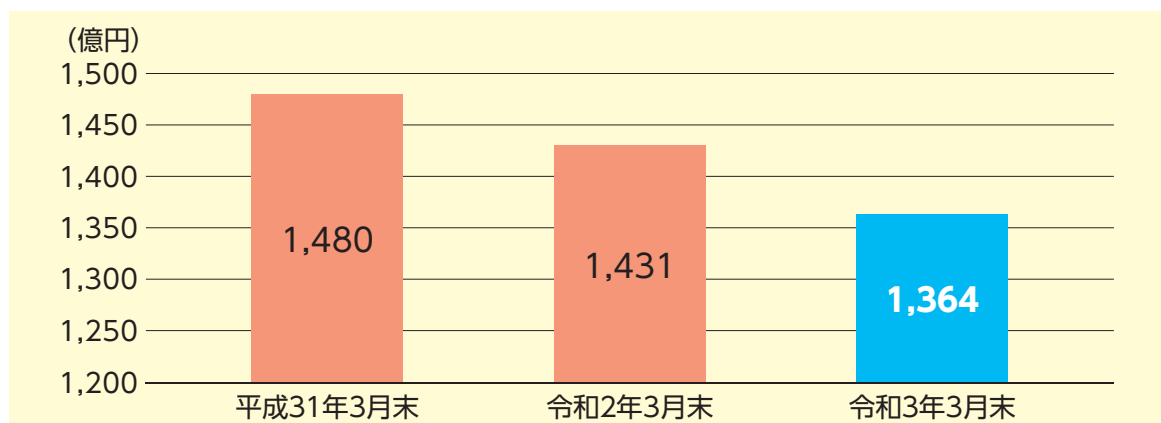
● 預金積金は、前期比124億円の増加

コロナ禍に対する備えとしての流動性預金への歩留まり等により、預金積金残高は前期末比124億円増加(5.46%増)の2,406億円となりました。



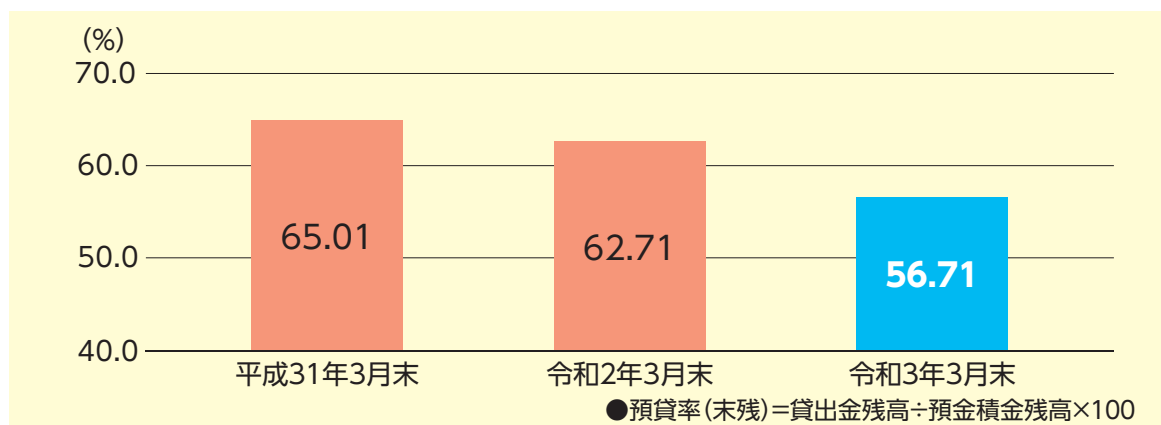
● 貸出金は、前期比66億円の減少

資金ニーズに対応した融資の増強に注力したものの、貸出金残高は前期末比66億円減少(4.62%減)の1,364億円となりました。



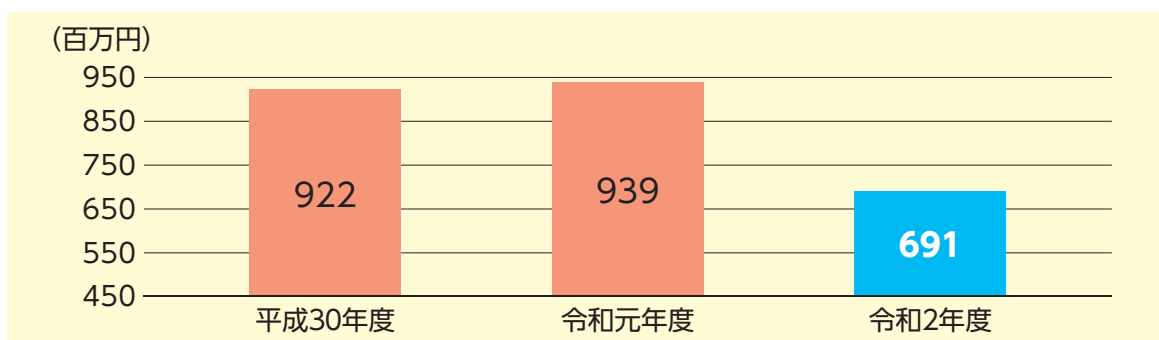
● 預貸率は、56.71%に低下

預金積金の増加及び貸出金の減少により、預貸率は前期末比6.00ポイント低下の56.71%となりました。

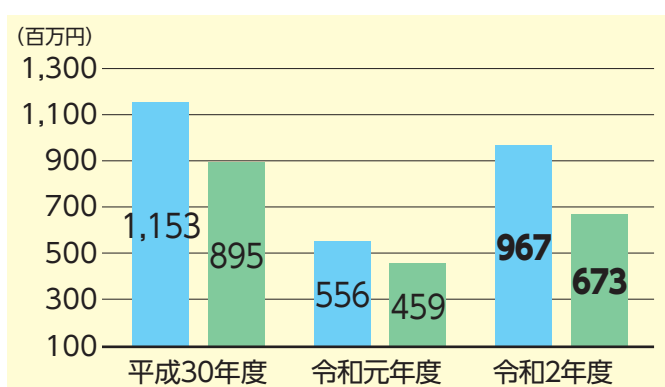


● コア業務純益は、前期比247百万円の減少

貸出金期中平残の減少に加え貸出金利回り等の資金運用利回りも低下したことにより、コア業務純益は前期末比247百万円減少(26.33%減)の691百万円となりました。

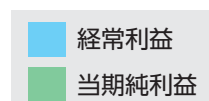


● 経常利益・当期純利益は、ともに増加



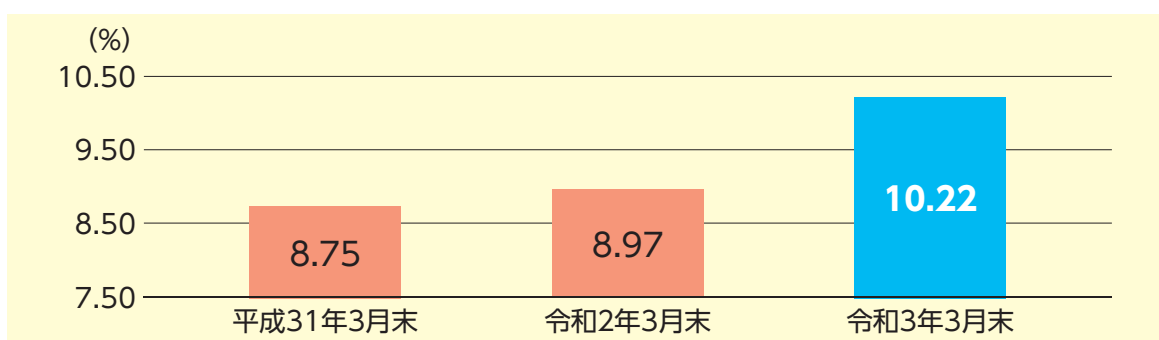
経常利益は411百万円増加の967百万円、当期純利益は、213百万円増加の673百万円となりました。

- 経常利益=経常収益-経常費用
- 当期純利益=経常利益+特別損益-法人税等
-法人税等調整額

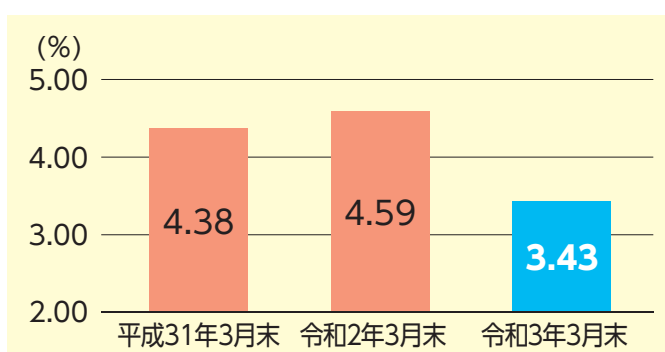


● 自己資本比率は、前期比1.25ポイント上昇

資産の安全性を示す自己資本比率は、前期末比1.25ポイント上昇の10.22%となり、国内基準である4%を上回る水準を確保しております。



● 不良債権比率(金融再生法基準)は、1.15ポイント低下



不良債権比率は、前期比1.15ポイント改善の3.43%となりました。

- 金融再生法基準不良債権比率=
開示債権額(不良債権額)÷総与信額×100

第69期 通常総代会の開催

第69期通常総代会が、令和3年6月25日(金)午前10時より、新型コロナウイルス感染症対応を万全に行った中、当組合本店において開催されました。

当日は総代数116名のうち、出席12名(うち委任状による代理出席3名)及び書面による議決権行使103名、合わせて115名により全議案が可決承認されました。

● 議 案

【報告事項】

第69期(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)事業報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

【決議事項】

第1号議案：第69期剰余金処分案承認の件

第2号議案：第70期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業・収支計画案承認の件

第3号議案：定款の一部変更の件
事務所の所在地等の変更について

第4号議案：組合員除名の件
Ⅰ. 所在不明の組合員除名について
Ⅱ. 債務不履行の組合員除名について

第5号議案：理事選任の件
理事5名選任について

第6号議案：監事選任の件
監事3名選任について

第7号議案：退任役員に対する慰労金支給の件



総代会制度について

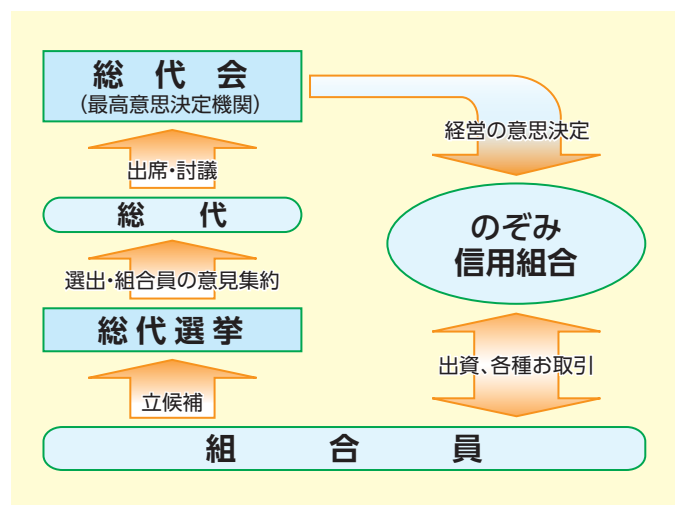
● 総代会の仕組み

信用組合は、組合員の相互扶助の精神を基本理念に金融活動を通じて経済的地位の向上を図ることを目的とした協同組合組織金融機関です。また、信用組合には、組合員の総意により組合の意思を決定する機関である「総会」が設けられており、組合員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権及び選挙権を持ち、総会を通じて信用組合の経営等に参加することができます。

しかし、当組合は、組合員が54,059名(令和3年3月末)と多く、総会の開催が困難なため、中小企業等協同組合法及び定款の定めるところにより「総代会」を設置しています。

総代会は、総会と同様に組合員一人ひとりの意思が信用組合の経営に反映されるよう、組合員の中から適正な手続きにより選挙された総代により運営され、組合員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保しています。また、総代会は、組合の最高意思決定機関であり、決算や事業活動等の報告が行われるとともに、剰余金処分、事業計画の承認、定款変更、理事・監事の選任など、組合の重要事項に関する審議、決議が行われます。

総代は、組合員の代表として、総代会を通じて組合員の信用組合に対する意見や要望を信用組合経営に反映させる重要な役割を担っています。



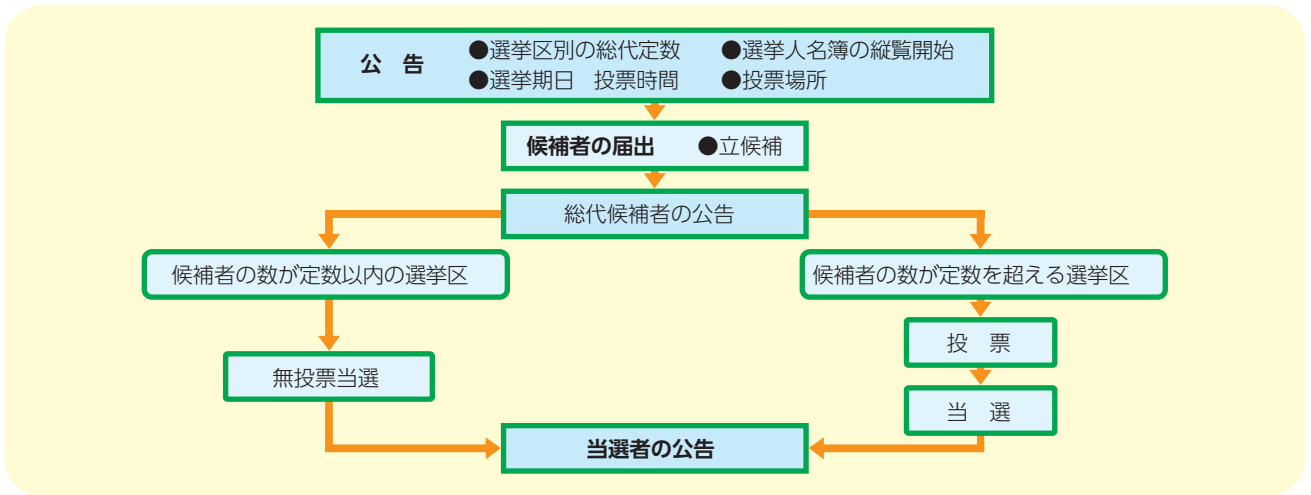
● 総代の選出、任期、定数

総代は、総代会での意思決定が広く組合員の意思を反映し適切に行われるよう、定款及び総代選挙規約に基づき選出されます。選挙区は地域的に近い営業店のまとまりを基本として、3選挙区に区分しております。

総代の定数は100名以上120名以内で任期は3年です。

総代選挙について

● 総代選挙までの手続



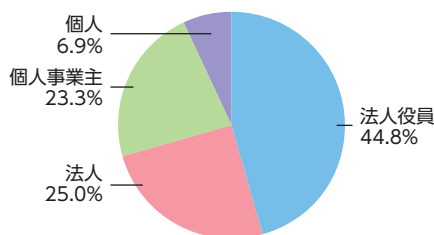
● 総代の選挙区・定数・総代数・総代氏名・構成比

令和3年6月30日現在

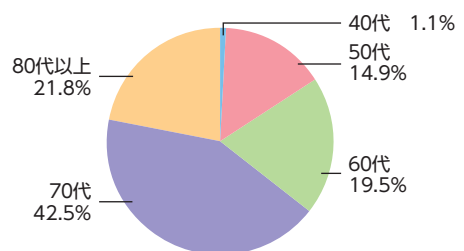
総代氏名			
第1区 大阪市 (総代定数：54名、総代数：52名)			
上田八木短資株式会社 [8]	木村 恒久 [7]	大阪北合同運送株式会社 [5]	平田 貴子 [1]
河村株式会社 [9]	株式会社櫻製作所 [*]	中村 太 [2]	岡村印刷工業株式会社 [9]
中尾印刷株式会社 [8]	日本タルク株式会社 [8]	帰山 福博 [7]	内山 順吉 [1]
吉本 治正 [8]	黒田 清行 [4]	花田 利彦 [2]	吉村 礼子 [7]
株式会社久寿野木ビルディング [*]	上西 宏侑 [7]	富士電装株式会社 [*]	齋藤 昇 [6]
小川 和子 [7]	株式会社ニューモアカラー [3]	佐々木 淳 [2]	酒木 博 [4]
カワセコンピュータサプライ株式会社 [*]	昌栄機工株式会社 [6]	岡田 勝身 [7]	大西 啓太郎 [1]
株式会社神通 [*]	株式会社ツタハラ [3]	城阪 勝喜 [2]	川本 公夫 [7]
株式会社星和ビジネスリンク [7]	株式会社たかぎ商店 [3]	辻 憲治 [2]	山本 将義 [4]
星光ビル管理株式会社 [*]	萬里商事株式会社 [*]	原口 茂 [3]	竹内 和良 [3]
株式会社セイカ [9]	株式会社賃住 [6]	豊島 公敬 [3]	
西谷商事株式会社 [*]	エイワ株式会社 [6]	難波 利正 [2]	
奥谷 森一 [7]	日光パッキン株式会社 [*]	川上 博 [7]	
梅津 好文 [5]	株式会社ヒガシトゥエンティワン [*]	木村 重治 [3]	
第2区 守口市、吹田市、枚方市、豊中市、大東市 (総代定数：34名、総代数：34名)			
小路 喜代一 [8]	松清 俊春 [7]	坂本 一彦 [6]	米田 弘樹 [3]
株式会社ザ鈴木 [7]	樋上 幸夫 [7]	大久保 彰 [3]	大本 博一 [3]
吉岡 桂三 [6]	山内 久生 [*]	岡本 好明 [3]	中井 正弘 [3]
龍建設工業株式会社 [4]	内藤 一 [4]	松本 信治 [7]	池田 實 [9]
丸山 和豊 [3]	吉村 省三 [4]	岸野 肇夫 [7]	藤本 和俊 [7]
近藤 浪子 [3]	大野 賢二 [2]	松本 和美 [7]	川村 悟司 [3]
大昭建設株式会社 [9]	株式会社大築 [3]	吉田 三彦 [7]	北井 秀樹 [1]
近藤 利三郎 [9]	橘内 久雄 [6]	緒賀 智子 [7]	
川上 興二 [2]	小林 和美 [6]	牧野 嘉伸 [4]	
第3区 八尾市、東大阪市、堺市 (総代定数：32名、総代数：30名)			
塚口 純行 [*]	木田 潔 [*]	後藤 紋子 [8]	松下 導治 [7]
谷浦 敏夫 [6]	北川 忠嗣 [6]	村上 實 [7]	谷口 尚真 [3]
宮井 光敏 [6]	森井 慎治 [3]	盛尾 清和 [4]	山浦 富美代 [1]
西尾 晴夫 [5]	西川 洋史 [3]	森 太一 [4]	吉田 昌広 [7]
今村 雄二 [4]	寺田 隆幸 [7]	中野 敏彦 [1]	澤 正行 [2]
井之上 浩 [2]	西野 克美 [3]	株式会社井野屋 [5]	音野 裕司 [1]
藤井 庸二 [1]	南條 保彦 [3]	加茂 正徳 [7]	
藤井 利秋 [1]	屋島 輝満 [1]	森川 泰秀 [7]	

(注) 氏名の後に就任回数(任期3年)を記載しております(敬称略、順不同)。なお、就任回数が10回以上の場合は、[*]で表示しております。

職業別構成比



年齢別構成比



お客様アンケート調査について

当組合では、地域に密着し利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立を目指す取り組みの一環として平成17年度より『お客様アンケート調査』を実施しております。

令和2年度も16回目となるアンケート調査を実施させて頂きましたところ、お取引先の皆様から多大のご協力と多くの貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございました。皆様から頂戴したご意見を参考に、以下のとおり業務改善に取り組んでまいります。

概要

令和2年度の業務改善の実績 (第15回アンケート調査を踏まえた取り組み)

改善項目	具体的改善策	実施内容・時期
お客様の利便性向上・サービスの充実に向けて	●スマホ決済サービス「BankPay」の提供に努めてまいります。	「BankPay」につきましては準備は完了したものの、電子決済サービスに関する犯罪が発生したことによるセキュリティ強化のため、利用は停止した状態となっております。
	●ご来店されたお客様へ快適に過ごしていただけるよう、また緊急時の対応等、店内の設備の充実（非常用電源の設置等）に努めてまいります。	コロナ感染症対策として、テラーに飛沫防止パネルの設置やマスクの徹底等、感染防止に努めました。店舗設備の充実として、令和3年2月に新築移転しました四条畷支店に非常用電源を設置いたしました。
	●認定経営革新等支援機関としての中小企業向け補助金申請支援や様々な経営課題（コロナウイルス感染症対策や事業承継等）における支援等、情報提供に努めてまいります。	創業・事業承継に対する支援を夫々行いました。また、ものづくり補助金の申請支援も行いました。コロナウイルス感染症対策として新型コロナウイルス対応資金をはじめとした資金支援に取り組みしました。
地域の皆様に安心し、より親しみを感じて頂くために	●営業主導のイベントの実施や地元商店街等とのタイアップを通じた地域交流や、「盲導犬育成事業」をはじめとした社会貢献活動に取り組んでまいります。	コロナ禍ということもあり、営業主導のイベント、地元商店街等とのタイアップ等は中止いたしました。「盲導犬育成事業」の応援として、社会福祉法人日本ライトハウスへ寄付を行いました。
	●ご来店されたお客様に対し、元気な挨拶・明るい笑顔での対応を心掛け、スピーディーな対応で待ち時間短縮等に努めてまいります。	ご来店いただいたお客様には元気な挨拶・明るい笑顔での対応を心掛け、スピーディーな対応に努めました。また、アンケート調査結果を踏まえ、各店にてより親しみを感じていただくため具体策を検討しました。
	●お客様に何でも相談いただけるよう信頼関係を深めるとともに、お客様のニーズにあった情報提供に努めてまいります。	コロナ禍でお客様への訪問活動等が制約される中、お客様に喜んでいただけるような情報提供に努めました。

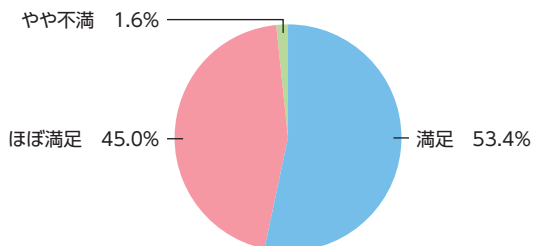
令和3年度の業務改善取り組み方針 (第16回アンケート調査を踏まえた改善策)

改善項目	具体的改善策
お客様の利便性向上・サービスの充実に向けて	●引き続き、スマホ決済サービス「BankPay」の提供に努めるほか、法人インターネットバンキングのセキュリティ強化に努めます。
	●コロナ禍及びコロナ後における様々な経営支援等、情報提供に努めてまいります。
地域の皆様に安心し、より親しみを感じて頂くために	●地域社会・経済活性化への取組みとして、地域貢献活動への取組みを強化してまいります。
	●事務の効率化に取り組むことにより、従来以上にご相談いただけるよう信頼関係を深め、お客様に喜ばれる取引の推進に努めてまいります。
	●ご来店されたお客様に対し、元気な挨拶・明るい笑顔での対応を心掛け、スピーディーな対応で待ち時間短縮等に努めてまいります。

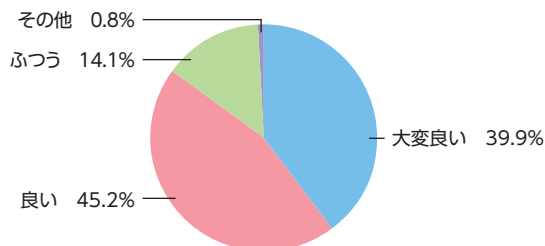
第16回お客様アンケート調査の実施要領

- 調査実施期間 令和3年1月12日(火)～令和3年1月25日(月)
- 調査対象 ・ 融資又は預金のお取引先（店頭来店先・営業担当者訪問先）
・ 1店舗あたり25～80先（店舗毎のお取引先数割）を無作為に抽出
- 調査方法 店頭又は訪問により依頼、郵送により回収、無記名
- 調査先数 総先数700先
- ご回答総数 636先（回収率90.9%）

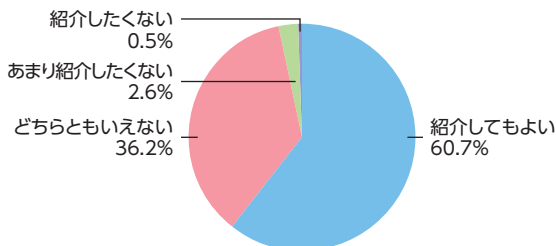
Q1：当組合に対する総合的な満足度についてお聞かせ下さい。



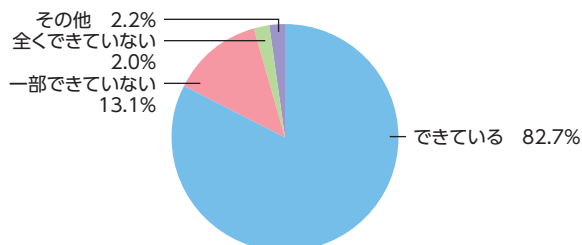
Q2：お取引店舗の印象についてお聞かせ下さい。



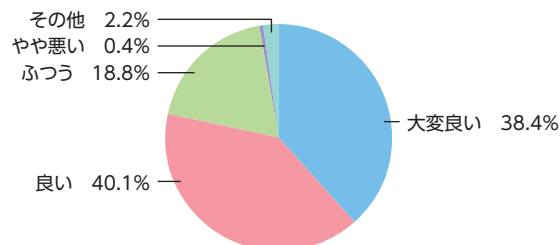
Q3：当組合を紹介してもよいかお聞かせ下さい。



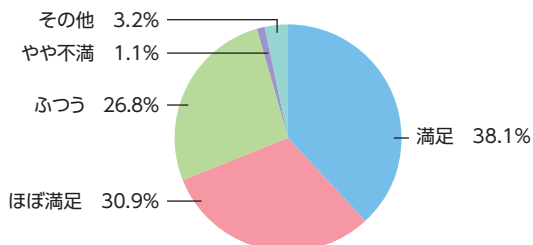
Q4：「元気な挨拶・明るい笑顔」で接客についてお聞かせ下さい。



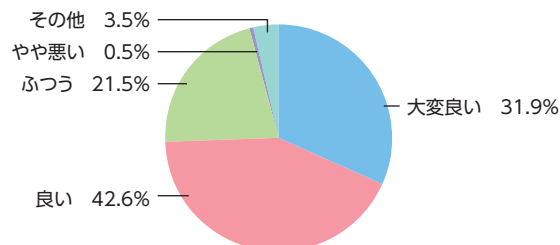
Q5：窓口職員の接客マナーについてお聞かせ下さい。



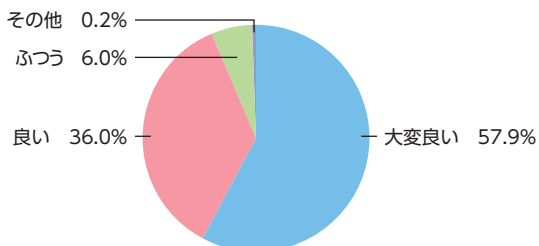
Q6：窓口職員の説明の分かりやすさについてお聞かせ下さい。



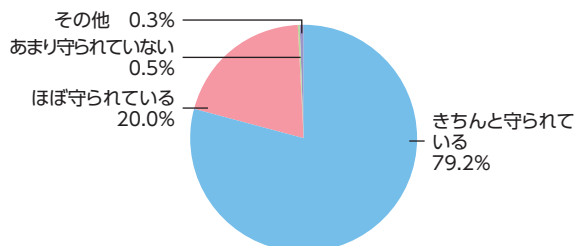
Q7：窓口職員の電話応対についてお聞かせ下さい。



Q8：営業担当者の接客マナーについてお聞かせ下さい。



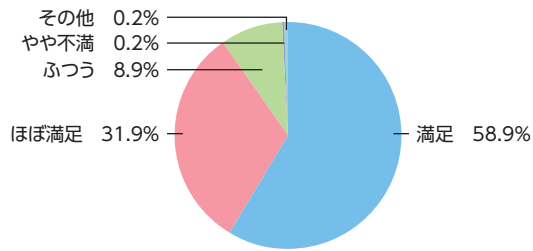
Q9：営業担当者の訪問日時の約束についてお聞かせ下さい。



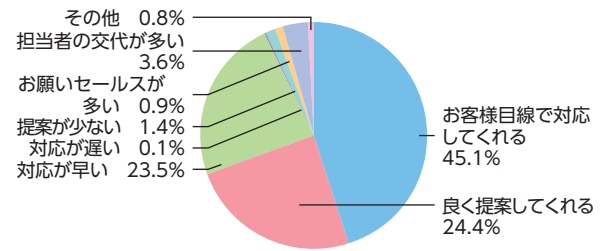
お客様アンケート調査について

概要

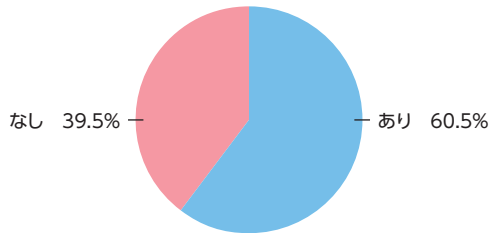
Q10：営業担当者の説明の分かりやすさについてお聞かせ下さい。



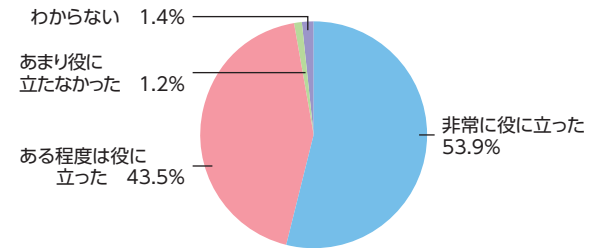
Q11：営業担当者の印象についてお聞かせ下さい。



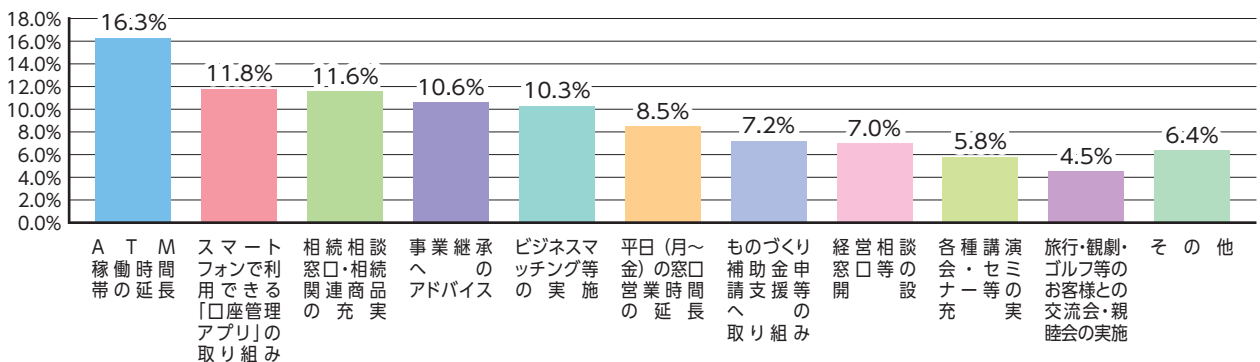
Q12-①：提案・アドバイスの有無についてお聞かせ下さい。



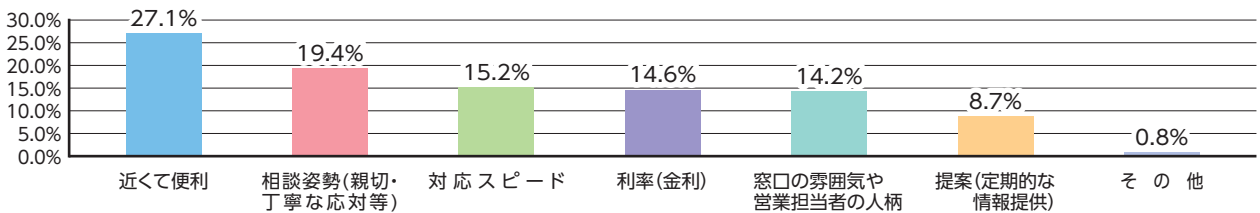
Q12-②：提案・アドバイスはお役に立ったかお聞かせ下さい。



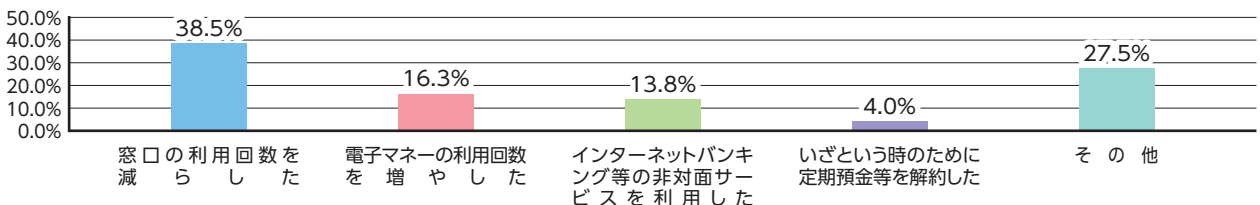
Q13：当組合に対するご要望についてお聞かせ下さい。



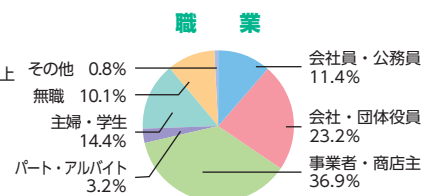
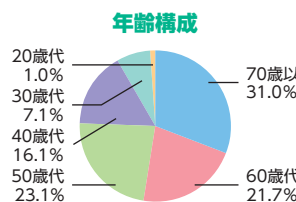
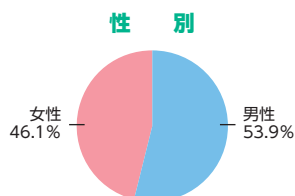
Q14：金融機関の選択についてお聞かせ下さい。



Q15：コロナウイルス感染症の発生に伴う変化についてお聞かせ下さい。



●お客様の属性



地域・社会貢献活動

盲導犬育成事業を応援

当組合では、盲導犬育成事業を応援する目的で、「盲導犬育成事業応援定期預金・定期積金」を夫々発売し、お預け入れ総額に対して、社会福祉法人日本ライトハウスへ寄付を行っております。

※平成22年度～令和2年度に合計330万円の寄付と盲導犬訓練車を贈呈させていただきました。



〔令和3年7月 感謝状贈呈：本店〕

安心してお取引いただけるための取り組み

● 認知症サポート態勢

当組合では、211名の役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講しており、認知症の方に対するサポート態勢の充実を図っております。

● 障がい者サポート態勢

全店にコミュニケーションボードを設置し、障がいをお持ちの方へのサポート態勢の充実を図っております。

● 後見制度ご利用の方の利便性向上

当組合では、ご本人の財産の適切な管理・利用のための後見制度支援預金を取扱いしております。

※後見制度支援預金とは、後見制度を利用されるご本人の財産のうち、日常的な支払いに必要な金銭と別に、通常使用しない金銭を特別な預金として預託するものです。

後見制度支援預金をご利用される場合、預金の払戻しや解約、入出金を行う際、予め家庭裁判所が発行する「指示書」が必要となりますので、ご本人の財産を安全・確実に管理することができます。

● 特殊詐欺未然防止

当組合では、ATMをご利用されるお客様への声掛けや、ご出金・お振込の手続きをされるお客様への内容確認を徹底するなど、振り込め詐欺等の未然防止に努めています。

● 高齢者サポート態勢

堺市では、高齢者の方が安心して暮らせるまちづくりを目指し、「堺市高齢者見守りネットワーク」事業を展開されております。

当組合は本事業に賛同し、該当店舗である萩原天神支店・堺陵南支店を事業者登録しております。

● 新型コロナウイルス感染症対策

当組合では、お客様と従業員の安心・安全確保の観点から下記の対応を行っております。

- ・従業員のマスク着用及び出勤前の検温・体調チェック、定期的な手指の消毒の徹底
- ・各営業店内及びATMコーナーの定期的なアルコール消毒液による拭き上げ清掃
- ・窓口及び応接室に飛沫防止用アクリル板の設置
- ・各営業店内の換気の徹底及びアルコール消毒液の設置



地域密着型金融の取り組み

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況について

● 中小企業の経営支援に関する取り組み方針

地域社会・地域経済の発展に貢献することを目的にコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

● 態勢整備の状況について

経営革新等支援機関の認定を受け、審査部内に支援担当を設け各営業店と連携を図っております。

● 取り組み状況

創業・新事業開拓への支援

中小企業者及び小規模事業者等を連携して支援することを目的に株式会社日本政策金融公庫と業務提携しております。

連携融資及び創業者向け事業資金「希望（のぞみ）」を活用し、創業・新事業を支援しております。

成長段階における支援

- ・当組合では、各営業店のお客様の様々なご相談や情報提供等のご要望について、全店の情報網を活かし幅広くスピーディーなご提案に努めております。



- ・でんさいネットの利用促進に努め、「でんさい割引」を行うなど、動産担保融資の推進に努めました。

令和2年度 でんさいネット利用件先数： 84先
「でんさい割引」実績： 13先、352百万円

※でんさいネットとは、一般社団法人全国銀行協会が設立した電子記録機関である「株式会社全銀電子債権ネットワーク」の通称で、手形・振込に代わる新しい資金決済サービスです。

- ・当組合がコーディネーターとして、リンカーズ株式会社が提供するものづくり系マッチングサービス「Linkers」を活用し、当組合のお取引先の販路拡大や新事業進出を支援しております。

平成29年度～令和2年度 当組合登録先数： 401先



経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ・中小企業庁の認定経営革新等支援機関として、地域の事業者の方が抱える問題や課題に対して、迅速かつ真摯にお応えし、「事業承継」や「ものづくり補助金」等の情報提供や申請支援を積極的に行っております。
- ・人材不足の解消や採用時間の削減等の課題解決の一助として、法人のお取引先に対して「ミイダス」をご紹介させていただいております。「ミイダス」とはミイダス株式会社が提供する人材マッチングサービスです。
- ・助成金の提案から受給までをサポートする経営支援サービスとして、法人・個人事業者のお取引先に対して「Jマッチ」をご紹介させていただいております。「Jマッチ」とは株式会社ライトアップが提供する経営支援サービスです。



「経営者保証に関するガイドライン」への対応について

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応する態勢を整備しております。

経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っております。

● 「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	令和元年度	令和2年度
新規に無保証で融資した件数	1,386件	1,390件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(%)	27.4%	30.8%
保証契約を解除した件数	3件	6件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当組合をメイン金融機関として実施したものに限る）	0件	0件

※「新規に無保証で融資した件数」には、割引手形の実行件数を含んでおります。

大阪府中小企業支援ネットワーク

地域の面的再生を促進する観点から、中小企業の経営改善や再生を促す環境を整備する目的に大阪信用保証協会が事務局となり「大阪府中小企業支援ネットワーク」を構築しております。

当組合も地域金融機関として同ネットワークに参加し、地域の事業者の方に対する経営改善支援等、お役に立てるよう情報の収集に努めてまいります。

タブレット端末を使用した「電子サイン」運用開始

当組合では、営業係が訪問先で現金・通帳・証書等をお預かりする際やお届けする際の手続きを明確にするため、令和3年6月からタブレット端末を使用した「電子サイン」の運用を開始しております。

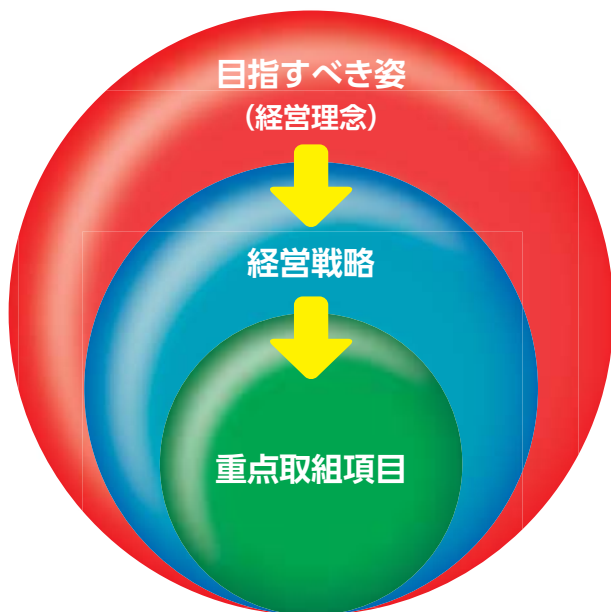
従来、営業係がお渡ししていた「受取書」に替えて、「電子サイン」による確認を行っていただくことで、お客様に当組合が発行していた「受取書」を保管していただく必要がなくなります。



第6次中期経営計画について〈令和3年4月～令和6年3月〉

概要

地域において真に必要とされる金融機関を目指して



経営理念

- 地域と人にやさしいコミュニティバンクとして、中小企業・個人事業者と生活者の繁栄を願い、きめ細かな金融サービスを通じて、みなさまの〈のぞみ〉実現パートナーになります。

経営戦略

- 「相互扶助」の理念のもと、地域の皆様の様々な課題を解決するための取組を強化する。

重点取組項目

- お客様目線に立った金融サービスの実践（喜ばれる取引の実践）
- 人材力・組織力の強化

重点取組項目について

お客様目線に立った金融サービスの実践(喜ばれる取引の実践)

- コロナ禍及びコロナ後における様々な経営支援の取組み
- 地域社会・経済の活性化への貢献
- 取引基盤の充実化(活動強化)

人材力・組織力の強化

- 目利き能力向上に繋がる研修の充実
- 人材の活性化
- 評価内容の見直し
- 店舗戦略及び店舗運営の再構築
- 業務の効率化(営業・事務)